

海外安全対策情報 令和3年度第3四半期（10月～12月）

1 社会・治安情勢

国民結集発展委員会（CNRD）のドゥンブヤ大佐が暫定大統領に就任しました。その後、閣僚の任命が完了するなど、移行体制の整備が進められています。ドゥンブヤ暫定大統領は、地区選挙、市町村選挙、国民議会選挙、大統領選挙を順に選挙を実施するとしていますが、今後の政情の見通しは不透明であり、不安定で混乱が続く可能性が排除できません。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

全国各地で強盗が多数発生しています。幹線道路沿いでは、長距離バスやタクシーを狙った武装強盗事案も発生しています。

（1）一般犯罪・凶悪犯罪事案（主な事件）

ア コナクリ市

10月、若者が強盗目的でトラックに火をつけました。火災消火に向かった消防車が若者に襲われ、消防車が破損する事件になりました。

11月、ニンバヤ軍事基地内に駐車していた乗用車から1,600万ギニアフランが盗まれる事件がありました。

イ シギリ県

12月、市場で金鉱採掘者2人を武装攻撃し、外貨とギニアフランを奪ったが、犯人は逮捕されました。

（2）邦人被害事案

11月、コナクリ市において、乗合いタクシーに乗車中、財布が盗まれる事件が発生しました。

（3）在留外国人（邦人以外）の被害事案

在留外国人の被害事案は確認されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西アフリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

5 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われま

以上